



ま ちかど インタビュー

あれから1年 避難指示解除へ 戻れる人から段階的に町への帰還が始まる

東日本大震災と原子力災害の影響により、約1年の間、全町民に発令されていた避難指示が解除されました。

町では、避難指示解除に向けた住民懇談会を実施し、今後の対応や帰還などについて、一定の方針を示しました。

そこで、避難指示の解除や帰還に関して、感じたことや行政に望むことなどを伺いました。



太田忠義さん
(下北迫・東町)

原発事故の対応には、長い年月がかかると思います。3月31日には町での避難指示が解除されましたが、広野町全域の除染が終わってからは、早く安心して帰れる環境作りをお願いします。

なかつたかと思えます。住



犬塚富佐子さん
(下北迫・苗代替)

住民懇談会や除染説明会に出席し、帰還に向け1歩ずつ前進しているように感じました。

行政への要望は、モニタリングポストによる目に見える安心。帰還に不安を持っている町民への勉強会や講演会を長期的に行ってほしい。また、想定外の事態に対応できる防災体制を日頃から整える必要があると思っています。町にたくさん笑顔が戻る日を願っています。

編集後記

あれから一年過ぎました。ロウバイ、マンサク、サンシユ、レンギョウと可愛い花が次々と咲いてくる。早春を彩る草木に黄色が多いのは、花粉を運ぶハチが敏感に反応するからと言われています。続いて春を代表する淡いピンクのソメイヨシノがそこかしこに咲きほころび、思い返してみると昨年の桜はいつ咲き、いつ散つたのか記憶がない。季節が巡れば花はかならず咲くけれど、私達人間には感情がある。復興元年と言われる今年、帰るべきか、帰らざるべきか気持ちは千々に乱れている人もいます。



(塩 史子)

- 発行・編集責任者 議長 鈴木紀昭
- 委員長 渡邊正俊
- 副委員長 北郷幹夫
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 遠藤 智
- 委員 畑中大子
- 委員 小磯利雄

次の定例会は6月です

